

シドニー日本クラブ
第 485 号

JCS
だより

7月号
2026



7月5日(日)はJCSフェイトに集合！

JCS日本語学校三校は二学期を終了し冬休みに

キネマ倶楽部●地獄に堕ちるわよ

キラリと光る●川畑博嗣さん

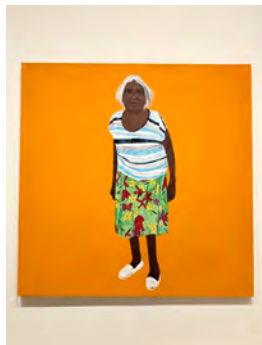
翔け！マイグラント！「マイグラントの生徒達」(その1)

バイクおばちゃんが行く！●(その4)ルーマニアからブルガリアへ

NSW州立美術館の「2026年アーチボルド賞展」に行ってきました！

マーン本誌編集長が、本誌6月号「Let's アート」でも紹介されたNSW州立美術館の「2026年アーチボルド賞展」を鑑賞してきました。日本語ガイドツアーへの参加がかなわなかったものの、大いに堪能してきました。

受賞者の作品をはじめファイナリストの作品を見ることができます。アーチボルド賞受賞者はリチャード・ルアー (Richard Lewer) 氏で、作品のモデルはイルワンティ・ケン



(Iluwanti Ken) 氏。8月16日までの開催(日本語ガイドツアーは8月1日まで)。ぜひ、お見逃しなく！

海上保安大学校の練習船「いつくしま」船内見学会に参加してきました！

6月21日に、水越副会長、リヒター会計理事、マーン本誌編集長、斎藤理事、多田監事が、海上保安大学校の練習船「いつくしま」船内見学会に参加してきました！

「いつくしま」は、総5,500トン、全長134m、幅16.3m、速力20ノット以上。世界最大級の練習船で、今年は66名の実習生が5月1日から7月28日まで遠洋航海実習を行っています。実習生や乗組員の居室をはじめ、操舵室、多目的室、特別公室、浴室などを見学しました。実習生に質問する機会もあり、大変興味深い見学会となりました。

●艦上レセプションに参加

6月23日(火)18時から、日豪の関係者を招いた艦上レセプションが行われ、JCSからは渡部会長、水越・松隈両副会長、チョーカー相談役、ホジュキンソン理事、飯島親睦の会会長らが参加しました。豪海軍はじめ、政界・財界・日系コミュニティから多くの方々が参加し、溝口艦長や山中総領事から挨拶がありました。参加者は実習生たちとの懇談を通じて、日本とオーストラリアの友好関係を改めて確認しました。(写真下段)

(写真下) 船内見学会の様子



総領事館からお願い(在留届の提出)

外国に3か月以上滞在する日本人は、最寄りの大使館や総領事館等に「在留届」を提出することが義務付けられています。大規模な災害が発生した場合など、当館では、オーストラリアの関係当局に連絡を取って邦人の被害について確認をする一方、在留届を確認して該当地域にお住まいの方に、直接ご連絡して安否を確認することがあります。在留届は、このような災害時の安否確認にも使用いたしますので、届出内容に変更(住所や同居家族の変更等)が生じた場合には「変更届」を、帰国の際には「帰国届」をご提出いただくようお願いいたします。

<https://www.ezairyu.mofa.go.jp/RRnet/index.html>



JCS フェイト

@

Auburn Community Picnic Area

7月5日(日)
11am - 3pm

イベントスケジュール

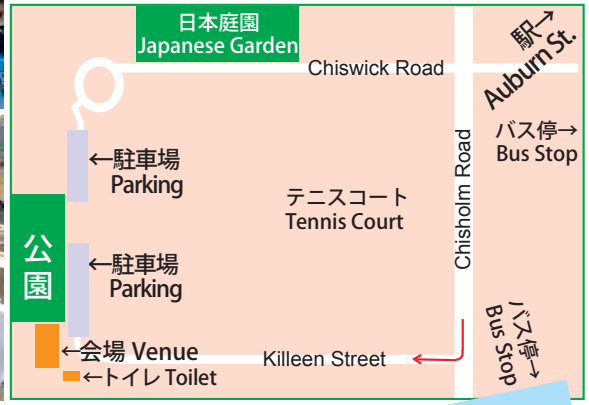
- 11:00 開会の辞 (渡部会長)
- 11:10 - 12:15 出演者パフォーマンス
- (12:15 - 12:35 お昼休憩)
- 12:35 - 13:50 出演者パフォーマンス
- (13:50 - 13:55 機材移動・準備)
- 13:55 - 14:10 紙芝居
- 14:10 - 14:30 玉入れ (低学年・高学年)
- 14:30 - 14:50 綱引き (低学年・高学年・大人)
- 14:45 閉会の辞

食べ物屋台

- ソーセージズル●コーヒー
- クレープ●おにぎり●菓子パン●お菓子
- たこ焼き●チョコバナナ
- 肉まん●おでん...などなど!

縁日

- 射的●金魚すくい
- 紙芝居
- フェイスパイント



Japan Club of Sydney
 Mobile: 0421-776-052 Email: jcs@japanclubofsydney.org
www.japanclubofsydney.org

フェイトには
 送迎バスはありません!
 Auburn 駅からのバスは
 909番と911番です。

理事会から

- 2026年6月定例理事会 6月3日(水)7pm-9pm(ドカティセンターとzoom)
渡部、水越、松隈、リヒター、ホジュキンソン、斉藤、林、葛西、マーン、阿部、飯島、コストロ(シティ校)、原(ダンダス校)、多田、チャーカー、神田領事
- 会員世帯数:340世帯(一般56世帯、学校284世帯)
- 次回理事会:7月1日(水)7:00pmよりドカティセンターで対面(またはzoom)

◆キャンベラ日本大使館訪問

渡部会長、水越副会長、親睦の会役員が日本大使館を表敬訪問した。JCSと親睦の会で実費を折半することが確認された。

◆総領事館からの連絡

神田領事から以下について説明があった。

- (1)旅券手数料の改定
- (2)大規模事件対応
- (3)海外生活の悩み

◆JCSフェイトについて

日時:7月5日(日)11時~15時

場所:オーバンピクニックエリア

理事集合時間:9:00

参加予定:水越、リヒター、斉藤、林、葛西、飯島、チャーカー、渡部、多田、松隈(予定)

不参加:阿部、堀場、原、コストロ、マーン、ホジュキンソン
※飯島、斉藤は親睦の会、原、リードはダンダス校の準備を担当。

- JCS関係出店内容の確認
- パフォーマンス団体については、JCS会員を優先的にプログラムへ組み込む。また、各団体に対してJCS会員への入会勧誘を行う。
- 会場設営:去年の電源配置プランを参考にする
- 今後のアクション
*フェイト前に倉庫の備品を搬出する。倉庫から搬出する物品および各理事が持参する物品のリストを確認する。(7月3日(金)4:00pm予定:渡部、水越、多田?)
*ホットウォーターおよびBBQ設備が使用可能か、カウンシルへ確認する。松隈

◆JCSチャットウッド日本祭り

日時:9月13日(日)11:00~18:00

出店・出展料は昨年と同額の\$700+GSTとする。

ただし、テーブルおよび椅子は別途料金とする。テーブル:1卓\$50、椅子:1脚\$15

◆その他

- Auburnさくら祭りについて
Auburnさくら祭りにおいて、金魚コーナーを日曜日のみで応募することとした。

◆学校関係

- シティ校:16クラス、生徒数200名、143世帯

5月20日に開催した「お買い物市」は、今年も大盛況でした。販売や下級生のお世話をした上級生達は、責任感を持ってしっかりと役割をこなしていました。日本語のお勉強だけでなくイベントからも生徒達は、道徳観念やたくさんの学びがあったようです。6月6日に



は、授業参観を開催します。子ども達の頑張っている姿を保護者に見ていただくととてもいい機会なので多くの保護者に参観していただきたいと思っています。2学期もあと4週で終了しますが、元気に登校してもらい引き続き頑張ってお勉強をしてもらいたいと思います。シティ校のソーラン隊は、5月31日にFCLSイベントEXTRAVAGANZA2026にて元気いっぱい素敵パフォーマンスを披露してきました。今回は、少しフォーメーションが変わり、これまた素敵な仕上がりに水越先生がご指導してくださいました。フェイトでもパフォーマンスを披露しますのでご期待ください!

- ダンダス校:11クラス、生徒数144名、98世帯

ダンダス校では、先月より授業参観が始まっています。両保護者や、祖父母の方々が来校され、生徒達も少し緊張しながらも、嬉しそうな様子が見られます。私も一保護者として、「お母さんへの手紙」というテーマの授業参観に参加しましたが、感動のあまり、ほぼ全員の保護者が涙し、子供達の成長を感じ、担任の先生に感謝の気持ちでいっぱいでした。

今週はフリーマーケットが予定されています。いつもの様に、生徒達はお買い物で大忙しになる事でしょう。七夕も控えていますので、短冊などの支度も始まります。ぐっと冷え込む日が多くなりましたが、体調を崩さず、二学期終わりまで、みな元気に登校してくれる事を願っています。

- エッジクリフ校:5クラス、生徒数58名、43世帯

二学期も5週が過ぎ、6月の4週の授業のみとなりました。13日に全クラス授業参観と父の日の行事を行います。また、最終日の27日には、各クラスで七夕の行事を取り入れた授業を行い、用意した笹の葉に願いを書いた短冊を結びます。また、二学期と三学期は、かえで組とつばき組が俳句や短歌を授業に取り入れて、子どもたちに日本の伝統的な文学を伝えます。

なお、昨年に続き、スピーチフェスティバルに2名を選出しています。しっかりと発表できるように学校としてもサポートをしていきます。教員についてはなんとか確保できていますが、二学期及び三学期で辞める方の後任を引き続き募集しています。

JCSのクラブライフ



シドニーソーラン踊り隊

毎週土曜日に小学校の体育館で練習をしています。

私たちの踊りが少しでも日豪文化交流に結びつくようにと様々なイベントで踊ります。一緒に踊りたい方、大歓迎！お気軽に練習にご参加ください。

練習日：毎週土曜日2時～3時

場所：Cammeray Public School (Palmer Street, Cammeray)

お問い合わせは、Email: jcs.soran@gmail.com まで。

<http://sydneysoran.wix.com/dancetroupe>



JCSフラアロハ 笑顔で踊るハワイアンダンス

体を動かす気持ち良さを感じながら、人と人との触れ合いを大切に、明るく楽しく美しく、健康第一をモットーに和気あいあいと踊っています。毎年数回のパフォーマンスでは思い切りオシャレなハワイアンスタイルで笑顔で踊ります。

ご参加されませんか？

練習は毎週火曜日11時～12時30分 Chatswoodで行っています。お問合せは、Email: jcshulaaloha@gmail.com

フラアロハ事務局までお気軽にどうぞ。



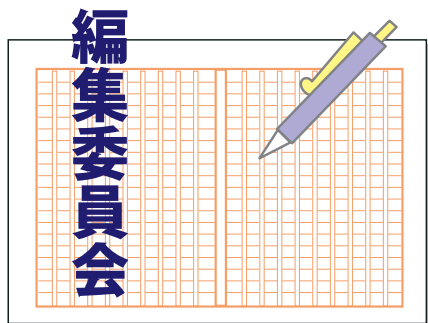
JCSソフトボール部

ソフトボール大会は毎年5月と11月の2回開催しています。2024年秋季2位、春季優勝。2025年秋季(中止)、春季優勝！

JCSソフトボール部では女性選手を急募中です！一緒に優勝目指しませんか？家族で応援に来ませんか？興味のある方は是非、ご連絡ください。

メール: adasada@hotmail.com または、

電話: 0402-048-570 (ソフトボール部部长 さだのり 安達定儀)



編集委員会

シドニー日本クラブの会報誌「JCSだより」を編集しています。会員からの投稿をお待ちしています。

また、誌面作りに興味のある方、一緒に会報誌を作りませんか？

興味のある方は是非、ご連絡ください。

メール: k.murn@jcs.org.au (JCSだより編集長 マーン薫)



教育支援委員会

シドニー日本クラブの日本語学校三校の運営に関する支援を行っています。その他、継承日本語教育についてのセミナー活動なども行っています。

お問い合わせは、以下までお願いします。

メール: jcs@japanclubofsydney.org または、

電話: 0421-776-052 (JCS事務局)

親睦の会 だより

会員
募集

シドニー日本クラブ会員の親睦と交流の集いです。和やかな雰囲気の中、和食弁当を食べながらの情報交換後には、様々な趣向を凝らした内容で楽しんでいます。遠足や野外活動も行っています。

JCSシドニー日本クラブの会員でしたら入会金は不要。年齢・性別・国籍は問いません。ビジターも大歓迎です。新しい輪を広げましょう。お気軽にご参加ください。

親睦の会役員

会長：飯島浩樹／事務局長：岩崎麻由／会計：長谷川潔／ボランティア：斉藤なお子、なかのあやこ

■6月23日(火)海上保安大学校練習船「いつくしま」艦上レセプション出席

海上保安庁の練習船「いつくしま」がシドニーを訪問、艦上で催されたレセプションにJCS理事および「親睦の会」会長が出席しました。



艦上レセプションで挨拶する山中修シドニー総領事

海上保安庁(JCG)は、日本の領海・排他的経済水域の警備や海難救助、海洋調査など、海の安全を守る重要な任務を担う機関です。今回シドニーに入港した練習船「いつくしま」には、広島県呉市にある海上保安大学校の幹部候補の学生らが乗り込み、将来の海上保安官を育てるための実習航海を行っています。

6月末のシドニーは冬真っ盛りですが、当日は穏やかで過ごしやすい気候に恵まれ、艦上には広島県産の日本酒などが振る舞われるなど、和やかな雰囲気が漂っていました。乗組員の皆さんの凛とした姿と温かいおもてなしに、日本の海の守り手たちの誇りと情熱を感じると同時に、日豪友好協力基本条約署名50周年という節目の年に、このような交流の場に立ち会えたことは、大変意義深い体験となりました。



練習船「いつくしま」艦上レセプションに出席したJCS理事ら

■6月27日(土)地球の素顔を追いかけて」

—ネイチャー旅行写真家Yoriさん講演—

「親睦の会」の6月例会で、シドニー在住のネイチャー旅行写真家Yoriさんによる「地球の素顔を追いかけて」と題した講演会をアーターモンのRobata Jonesで開催しました。

東京都出身のYoriさんは、「JCSだより」の表紙写真などを手がける写真家で、世界各地の雄大な自然を舞台に、その瞬間にしか出会えない光と命の表情を撮り続けています。当日は、本誌に掲載された作品を一枚一枚スクリ



ネイチャー旅行写真家Yoriさん(前列中央)と講演参加者

ーンに映し出しながら、それぞれの写真に秘められた旅の記憶や撮影時の工夫、出会いのエピソードを丁寧に語りました。

とりわけ参加者の心をとらえたのは、2025年がオーロラの当たり年とされるなか、アイスランドで撮影した奇跡の一枚。漆黒の空を幾重にも彩る光のカーテンの壮大な光景を前にしたときの感動が、言葉と写真を通じて生き生きと伝わり、会場にはしばし静寂が訪れました。

近年はあまりにも精緻な写真を見せると「これはAIですか?」と尋ねられることも少なくないと、苦笑まじりに話すYoriさん。だからこそ「血の通ったエッセイと言葉、そして写真を通して、自分が実際に見て、感じ、出会った自然の姿を伝えていきたい」と語り、写真家としての揺るぎない信念と、自然への深い敬意が感じられました。

機材をすべて自分で担いで旅する体力的な苦勞についての参加者からの質問に、笑いを交えながらも真剣に答えたYoriさん。一枚の写真が生まれるまでの長い道のりに、「水の惑星・地球を守りたい」という彼女の自然への思いが、写真と言葉の一つ一つからひしひしと伝わり、参加者の胸に深く刻まれる、心温まるひとときとなりました。

■7月5日(日)JCSフェイト開催のお知らせ

毎年恒例のJCSフェイトが、今年も開催されます! 屋台やバザー、楽しいステージパフォーマンスなど、大人から子どもまで楽しめる企画が目白押しです。ご家族・ご友人お誘い合わせの上、ぜひご来場ください。皆さまのお越しを心よりお待ちしております!

親睦の会では、引き続き会員の皆さまの交流と学びの場となるイベントを企画してまいります。次回のご参加を心よりお待ちしております。お問い合わせはshinbokunokai25@gmail.com (事務局:岩崎)まで。

シドニー日本クラブの年次総会は、8月15日(土)に開催

日時:8月15日(土)15時~16時(予定)

場所:Dougherty Community Centre

7 Victor Street, Chatswood

2026/27年度のJCS年次総会を、8月15日(土)に開催します。是非、会員のみみなさまのご出席をお願い致します。

事前に総会資料に必ず目を通されるよう、お願い致します。(総会資料はJCSのサイトに掲載します。)欠席される方には委任状の用意もありますので、事前に提出をお願い致します。

年次総会では、事業報告と事業計画(案)、決算報告と予算(案)の審議と承認を行います。



■年次総会式次第

- 第1号議案 2025/26年度事業報告
- 第2号議案 2025/26年度収支決算報告
- 第3号議案 2026/27年度事業計画(案)
- 第4号議案 2026/27年度予算(案)
- 質疑応答

総領事館からのお知らせ

※在シドニー日本総領事館からのメールマガジンの抜粋です。総領事館からメールマガジンが発信されていますので、こまめに最新情報を得るようにしてください。

領事情報

(1)旅券手数料の改定:7月1日(水)の申請分から約7千円程度の減額となりますのでご注意ください。申し込みから発効までは2か月を見込んでください。

(2)大規模事件対応:テロ等の大規模な事件が発生した際には、慌てず行動してください。

(3)海外生活の悩み:日本の外務省では、居住地で相談が難しい事案を抱えている場合、日本のNGO等を通じた日本語による相談窓口と連携しています。以下のリンク等を確認し、様々な相談先があることを知ってください。

【海外生活の悩み・家族問題】

https://www.mofa.go.jp/mofaj/ca/ha/page22_001736.html(外務省HP情報)

https://www.sydney.au.emb-japan.go.jp/itpr_ja/okomari-no-kata.html(当館HP)

「日豪友好協力基本条約署名50周年」周年事業の募集

本年は日豪友好協力基本条約署名から50周年となります。この記念すべき年を、地方自治体、企業、民間団体等による積極的な参加を得ながら、日豪間の幅広い交流の年とするため、日豪両政府は、地方自治体、企業、民間団体等が主催する日豪交流に関連する行事やイベントについて、審査を経た上で、「日豪友好協力基本条約署名50周年事業」として認定しています。

本年1月1日から12月31日までの間に日本または豪州で開催される行事やイベントが対象となっており、詳細については以下のリンクをご確認ください。多くのご応募をお待ちしています。

https://www.mofa.go.jp/mofaj/a_o/ocn/au/pagew_000001_02214.html

採用情報

在シドニー日本国総領事館では、総領事公邸において勤務する現地職員を募集しています。

勤務地は、Bellevue Hill所在の在シドニー日本国総領事公邸です(総領事館事務所ではありません)。主な業務は、公邸の維持管理・清掃、公邸会食等における接遇補助等です。

勤務日は原則として月曜から金曜までの日中ですが、公邸会食等への対応のため、週1~3回程度、夜まで勤務いただく場合があります(時間外勤務手当別途支給)。

応募を希望される方は、①履歴書、並びに②豪州国籍または永住権等、豪州で恒久的に就労可能であることを確認できる資料(VEVO等)を添付の上、以下の宛先までご連絡ください。書類選考の上、面接対象の方にご連絡します。

【応募先】cgaccounts@sy.mofa.go.jp

お買い物市を開催！

イベントの多いシティ校でも子どもたちに特に人気が高い「お買い物市」を2学期3週目に開催いたしました。事前の準備から当日まで保護者の皆様にご協力やご支援を頂いたおかげで本年度のイベントも無事に実施ができました。

当日は最上級クラスの水無月組が販売を担当してくれました。おこずかいを握りしめてお買い物に来る生徒たちに優しく商品案内やお金の計算などをしてくれました。また、高学年と低学年でバディシステムを導入したクラスも複数あり、ペアになったお兄さんお姉さんのやさしい声掛けに低学年の子どもたちも安心してお買い物をする姿があらこちらでみられました。普段の授業ではなかなか難しいですが、イベントなどで学年やクラスの垣根を越えての活動も取り入れ、子どもたちにとって「日本語だけではなく幅広い学びの機会」を提供できるような運営を目指したいと思います。

クラス紹介 あられ組



3歳から4歳の生徒17名が在籍する新入生クラス、あられ組です。

年度初めの登校時には、お家の方と離れることが寂しく、大きな声で泣いていた子どもたちもいましたが、運動会やお買い物市などのさまざまな学校行事を経験する中で、少しずつ学校生活に慣れ、自信をもって過ごせるようになってきました。

「日本語は楽しい！」という気持ちを育てることを目標に、あられ組ではまず、自立して集団での学習生活を送る力を身につけられるよう、なるべくルーティンを定め、一人ひとりの成長に寄り添って日々の授業を進めています。



学習面では、子どもたちが興味をもちながら自然に日本語に親しめる環境づくりを心がけています。特にあられ組の子どもたちは歌が大好きです。「今月の歌」を決め、毎週おやつの時間に繰り返し流す活動を取り入れています。数週間経つと、「この

歌、聞いたことある！」と言いながら口ずさむ姿も見られるようになりました。そのほかにも、手遊びや絵本の読み聞かせ、製作活動などを通して、子どもたちは楽しく日本文化や日本語を学んでいます。

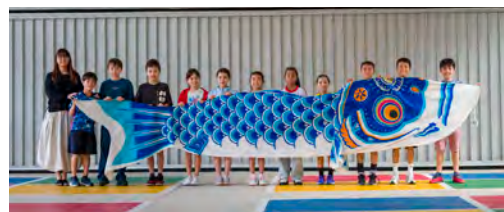
ひらがなについては、言葉探しや運筆のプリントなどに取り組みながら、読み書きの学習へとつながる基礎を育てている最中です。子どもたちの「できた！」という喜びを大切にしながら、今後も日本語への興味と学ぶ楽しさを広げていきたいと思っています。(担任:加藤ゆき)

クラス紹介 やつはし組

やつはし組は、Y3からY5の生徒15名で日本の小学2年生下の学習内容に取り組んでいます。みんな意欲的に授業を受けており、活気が溢れているクラスです。スポーツをしている子どもたちが多く、私は親しみを込めて「アスリートクラス」と呼んでいます。



最初の国語の学習では、「がまくんとかえるくん」の『お手紙』を学習しました。子どもたちは、がまくん、かえるくん、かたつむりくんとナレーション役に分かれ、音読劇に挑戦しました。役になりきるために手作りのかぶり物を身につけ、一生懸命練習を重ねた結果、とても素晴らしい劇を発表することができました。子どもたち自



身も大変楽しんで取り組んでおり、学習の思い出の一つとなりました。劇の後には感想文を書きましたが、自分の頑張りだけでなく、友達のよかったところや努力を認め、褒める内容が多く見られました。お互いを思いやり、仲間の成長を喜べる姿に、大きな成長を感じました。

来学期にはスピーチ発表会があり、テーマは「日本の一番好きな場所」です。子どもたち自ら題材を選び、日本の魅力や自分の思いを整理しながら準備を進めています。それぞれの個性や興味が表れた内容となっており、発表を通してさらに成長してくれることを楽しみにしています。残り半分となりましたが、これからもみんなで力を合わせ楽しく学び続けていきたいと思っています。

(担任:右近春香)



JCS日本語学校ダングス校 JCS Japanese School Dundas

学校 Dundas Public School (85 Kissing Point Road, Dundas NSW 2117)

連絡先 PO Box 1072, Dundas, NSW 2117 授業 毎週土曜日 / 9:30~12:15

Email jcs-jpschdundas@live.com Web <http://dundas.japanclubofsydney.org/index.html>

3学期が始まります

ホリデーがあけると、いよいよ今年も後半です。3学期にはダングス校恒例の各クラスによる調理実習や学校全体の運動会などの行事が盛り沢山なので、クラスメイトと一緒に楽しく日本語を使いながら参加してもらいたいものです。高学年では、スポーツや他の習い事などが週末にあり、ダングス校の授業時間と重なることが多いのですが、それでも多くの生徒が両立しながら続けてくれています。

クラス紹介 虹組



虹組は下から2番目のクラスで男子7人、女子9人、キンディーと一年生の合計16人です。もちろん日本語能力的には得手不得手がありますが、年齢差が少ないので、行事ごとのクラフトをしても、集中力やできることにあまり差がなく上手にできています。そして、とにかく楽しそうにクラフトに取り組んでくれている姿が嬉しいです。

元気いっぱい男子と大人しくて小さい声で発表してくれる女子が多いクラスなので、毎週アシスタントの早織先生と陽子先生と一緒に試行錯誤しながら生徒一人ひとりにじっくり声をかけてきました。その甲斐あって、2学期に入ってからは少しずつそれぞれの個性が光る状態になってきています。こうして生徒たちの成長していく姿を見させてもらえることが嬉しくて、私たち教員もよく連絡を取り合いながら生徒一人ずつを細かく見ていっています。

1学期には小さく書く「っ」が入った詰まる音言葉を勉強しました。毎年導入している早口言葉のような言葉遊びも上手に言えていたので、2学期の授業参観で大好きなご両親の前で発表してもらおうと、いつもよりもはりきって上手に言えていました。また、今でも何気ない時にこの言葉遊びを口にして生徒もいるので、語呂合わせがおもしろいようです。こうやって少しでも「日本語って何だか面白いな」と思って勉強を続けてもらえる



いいですね。

2学期に入ると、小さく書く「やゅよ」が入ったねじれる音言葉の前半の勉強が始まりました。今年からローカル校に通い出した生徒がほとんどなので、まだ言葉をたくさん書くことには慣れていないはずなのに、2時間目には国語ノートに集中して書いてくれています。早く書き終わった子は「もっと書きたい!」と言ってくれたりもしています。

3学期には、このねじれる音言葉の後半をしていく予定です。前半の「きゃきゅきょ」などの音が入った言葉は小さい子どもたちに馴染みのある言葉が多いので、活発に手を挙げて発言してくれています。後半の「みゃみゅみょ」や「りゃりゅりょ」などは馴染みのない言葉が多いので、発言も少なくなってきます。2学期に勉強した「ぢゃぢゅぢょ」の音が含まれる言葉は難しく、馴染みのない言葉が多いのですが、それでも日本文化に関係してくるような「盆提灯」や「湯飲み茶碗」などの言葉なども絵を見せながら、「お盆とは？」などの話を交えて説明しています。毎週の宿題も簡単な短文を練習できるようにしています。

まだまだ集中力を維持することが難しい年齢なので、クラフトを取り入れながら毎週、楽しく日本語に触れています。この調子で今年後半も様々な行事を楽しみながら取り組んでいきます。(担任: サマトちづる)





7週目には授業参観が行われました

いつも元気いっぱいの生徒たちは、お父さんやお母さんに見守られる中、普段以上に張り切って活動に取り組む姿を見せてくれました。

一緒にクイズの答えを考えたり、翌週の父の日に向けたプレゼント作りをお家の方と協力しながら楽しんだり、笑顔あふれる素敵な時間となりました。子どもたちの成長や、日頃の学びの様子を保護者の皆様と共有できる貴重な機会となりました。

クラス紹介 ひのき組



ひのき組は6歳から10歳までの計11人のクラスです。子どもたちは個性豊かで、毎週意欲的に授業に取り組んでくれています。私がひのき組の子どもたちと出会ってから数か月、彼らの日々の成長に驚くことばかりです。ひらがな・カタカナを書くことに苦労していた子どもが多かった時期もありますが、最近では毎週の宿題で簡単な絵日記を書けるほどに成長しています。

今年度のひのき組の学習テーマの一つは、「日本についての知識を深める」ことです。2学期には、日本の季節の特徴や、各季節の有名なものなどを学習しました。子どもたちにとって身近なテーマを扱いながら日本文化を学ぶことで、自分自身や家族のルーツを理解するきっかけになることを期待しています。授業で毎週実施しているのは、1時間目のかな文字クイズと、漢字学習と並行した書き順クイズです。高得点を取ったり、前週よりも努力が見られたりした子どもにはシールをプレゼントしています。子どもたちのクイズに対するモチベーションは高く、毎週解くスピードや正答率が上がっていることを担任として嬉しく思います。また、今学期からは本格的に音読を授業と宿題に取り入れています。日本語の語彙を少しずつ増やしていきたいです。



担任として、子どもたちには「書ける日本語」だけでなく、「使える日本語」を身につけてほしいと考えています。



かな文字や漢字を覚えることはもちろん大切です。ですが、子どもたちにはそれを自分の言葉として扱えるようになってほしいと思います。それは非常に難しいことですが、言語を学ぶ楽しさもそこにあるのではないのでしょうか。だからこそ、授業では意識的に発言の機会を増やしたり、動画や教科書を使った学習の後には内容に関するクイズを必ず実施したりしています。日本語を聞いたり読んだりして終わりではなく、内容を理解し、自分の言葉でそれを伝えたり、書けるようになってほしいと強く願っています。

また、子どもたちの成長があったからこそ取り入れられたことの一つが、「復習時間」です。子どもたちには、授業で担任やアシスタントの力を借りずに、学習したことをノートに書いてもらっています。そして授業の最後に、学んだことをノートを見て復習する時間を5分ほど設けています。その後に復習クイズを実施しており、子どもたちも集中して取り組んでいます。普段は明るく、にぎやかなひのき組ですが、毎週この時間はとても静かになります。当初は子どもたちも苦戦していましたが、最近では自分なりのコツを見つけた子も多いのか、問題にフライング気味に回答することもしばしばです。JCSでの学習が、日本語だけでなく、普段の勉強にもヒントになればいいと思っています。



さて、ひのき組のモットーは、「主体的に楽しく学べるクラス」です。日本語学習を楽しむとともに、積極的に挑戦できる環境を作りたいと思っています。クイズなどでゲーム性を取り入れているのはそのためです。また、挙手や発言の機会を増やすことで挑戦することのハードルを下げ、授業を通じて達成感が得られるよう工夫しています。

あっという間に2学期もあと数回となり、今年度も折り返しが近づいてきました。JCSでの活動を通じて、子どもたちがどのように成長していくのか、とても楽しみにしています。
(担任:柴川大生)

メラリと光る

あの人・この人

川畑博嗣さん

おにぎり店Musubiyaオーナー

今回は、シドニーのマーケットやイベントなどで、手作りおにぎりを販売している川畑さんを紹介합니다。

川畑博嗣さんは宮崎県出身、日本では広告代理店の営業の仕事をしていましたが、海外で飲食業に挑戦したいという思いがあり、福岡の老舗蕎麦屋で経験を積み、8年前にシドニーに來られました。

シドニーを選んだ理由は、多文化で食への関心も高く、日本食の大きな可能性を感じたことだそうです。実際に生活する中で日本のおにぎりや家庭的な和食を求めている方が多いことを実感し、本格的に事業として取り組むようになりました。

日本では当たり前には食べられているおにぎりですが、当時のオーストラリアではまだ「日本食＝寿司」というイメージ



が強く、「おにぎりって何？」という反応が多くあり、おにぎり本来の魅力がまだ十分に伝わっていないと感じ、具材やお米、手作りにこだわった“日本らしいおにぎり”を届けたいと思ったのが、お店を始めたきっかけだそうです。

まずはシドニーで地域に根付いたお店として、忙しいオフィスワーカーの方でも手軽にしっかりとした和食を楽しんでいただけるようなお店を目指し、今後は企業向けケータリングやお弁当事業をさらに強化し、日本食文化をより多くの方に知っていただける展開を考えつつ、オーストラリアと出身地宮崎をつなぐようなアンテナショップ事業にも広げていきたいと思っているそうです。Musubiyaでは、宮崎名物肉巻きおにぎりも販売しているので、是非ご賞味あれ！

Instagram: @musubiya_au

Facebook: Musubiya

スポーツ天国



ステート・オブ・オリジン

いま世界を沸かせているスポーツイベントと言えば、やはりサッカーワールドカップ。

でも豪州のスポーツニュースのトップにくるのが、NSW州とQLD州では、まずNRL(ラグビーリーグ)で、その他の州は、AFL(オージールール)です。

その中でもNRLのState of Origin(州別対抗戦)が最強かと思っています。(その次がグランドファイナル)



第2戦は、NRL不毛の地ビクトリア州で開催されたにもかかわらず、MCGには9万人を超える観客。8月7日の最終戦が楽しみです。

会員の皆さんからの情報も受け付けています。Eメールは、kenerit@gmail.comです。よろしくお願ひします。(ぴか)



佐藤至子



り、体にとんぼの刺青(いれずみ)をいれている。ある日、博打ですっかり取られた久次郎は家に戻り、金の無心をするが、剣術の師匠の大竹大助がそこに来合わせて久次郎を叱る。大竹は久次郎の母親から金を託されており、

132回 放蕩息子の話

落語には放蕩息子の出てくる噺(はなし)がいくつもある。例えば「唐茄子屋政談」では、廓遊びが過ぎて親に勘当された息子が行くあてをなくし、川に身を投げて死のうとするが、通りかかった伯父に止められる。息子は伯父に言われて唐茄子(かぼちゃ)を売り歩くことになるが、炎天下で唐茄子をかついで歩くうちに転んでしまい、見知らぬ人に助けられる。人情ばなしで、聴いているとかぼちゃの煮付けが食べたくなる。

その名も「不孝者」という噺もある。芸者遊びをして家に帰ってこない息子に父親が業を煮やし、みずから息子を迎えに行く。ところが、行った先で自分がむかし世話をしていた芸者に再会し、思わぬ展開となる。サゲで「親不孝」の意味が変わるところがおもしろい。

「やんま久次」という噺には、武家の放蕩息子が出てくる。古くは「大籠棒」(おおべらぼう)という題で演じられていた。主人公の久次郎は旗本の弟で、博打場に入り浸

り、久次郎に侍奉公をするよう諭してその金を渡す。久次郎は改心するそぶりを見せるが、大竹と別れた後、がらりと態度を変えて悪態をつき、「大べらぼうめ」と言い放つ。

私はかつて芸能史研究家の故・山本進先生にこの噺について教えていただき、大正期の三遊亭円楽の口演速記「大籠棒」と月の家円鏡の口演速記「大べら棒」を読んだ。さほど長い噺ではなく、オチもない。そのせいか、そのときは盛り上がりのポイントがいまひとつつかめなかったのだが、2013年3月に三代目蜷気楼龍玉が演じた「やんま久次」を聴いて、久次郎が悪態をつく場面こそが聴きどころであるとわかった。じつに威勢のいい悪態で、久次郎は改心どころか反省すらしておらず、本物の不良であることがありありと伝わってきた。真に迫るとはこういうことかと思った。

三代目龍玉師匠は2026年6月11日に亡くなられた。国立演芸場で「やんま久次」を聴いた日のことを私は生涯忘れない。

私のドリームホーム 25



やっとビルダーのHOWが片付いたと思ったら、お次はカウンシルのサティファイヤーの許可を取らなければなりません。そしてもちろんそちらが通らなければコンストラクションサティフィケートも出ないというわけです。アーキテクトが半日を費やしてサティファイヤーとのミーティングを持ったようですが、申請する膨大な書類をすべてアップロードしなければならないということでした。その間、私達夫婦はタイルをはじめサンドストーンのサンプルなどを見に行っていました。今回はメインエントランスのドアを見に行ってきました。

中古のドアをはじめ新しいドアなども見ていきます。ドアの値段はビルダーの見積りには入っていないので

自分達が好きなドアを取り付けることができます。さて、どんなドアが良いのでしょうか？家に合わせた1920年代用のステンドグラスやすりガラスになっている1枚ドア、或いは2枚ドア。更にはドアの両側にパネルがついているものなど。新しいところではドアが2重構造の防音になっているものなど…。お値段はさておき、色んなドアを見るのは楽しいことです。ドアのサイズや値段はもちろんのこと、ドアにはフレームが必要となるのでこれらも考慮に入れなければなりません。最初は1枚ドアの両方にパネルを入れようかと考えていたのですが、ドア屋さんに話を聞いたら、なんと同じドアを2枚にして観音扉にした方がお値段が安いことを教えてくれました。パネルにするか、ドアを2枚にするか悩むところです。もちろん楽しみでもあります。

そんな中、母の家のペンキ塗りが決まりその間8日間、母が我が家に滞在することになりました。母は自宅にいる時はNHKを見ているのですが、残念ながら我が家にはNHKはありません。楽しみにしている大相撲も映りませんが大量に新聞を持って来て、陽が当たる肘掛椅子に座り新聞を読んだり、うつらうつら昼寝をしたり、日本語のネットフリックスを見たりしていました。

(マイホーム)



地獄に墮ちるわよ (Straight to hell)

監督: 瀧本智行、大庭功睦

出演: 戸田恵梨香、伊藤沙莉、三浦透子、奥野永太、中島歩、生田斗真ほか

制作: Netflix (2026年4月27日～世界独占配信) (全9話)

●作品概要

独自の「六占星術」を掲げ「大殺界」や「地獄に墮ちるわよ」などの強烈ワードでTV界の寵児となり一世を風靡したカリスマ占い師細木数子(戸田恵梨香)。その毀誉褒貶(きよほうへん)の激しい波乱万丈の半生を、数子の「伝記」を書くために雇われた作家の魚澄美乃里(伊藤沙莉)が彼女の昔話を聞き取りながら振り返る。戦後の焼け野原となった日本で兄弟姉妹とともに飢えと赤貧の苦しみを味わった数子。そこから這い上がり、憧れの生活を実現するため、若き数子は夜の世界へ身を投じていく。誰にも負けない強い決意と天性の才覚で、20代で銀座に店を開くほどの成功を収めるが、その裏では死のうと思ひ詰めるほどの苦しい裏切りや喪失を何度も経験する。そこから再び立ち上がり日本で最も有名な売れっ子占い師になるという見事な変身を遂げて豪華な生活を送る現在の数子。彼女の壮絶な過去と存在感に圧倒されながらも、美乃里は数子の真の姿を描こうと必死に対峙するのだが…。

感想① 数子の話のどこまでが本当だろうと、赤貧の中から立ち上がり全てを自力で築いてきたその生き様には何の虚飾もないだろう。戦後日本のどさくさと高度成長期の狂乱の中、男たちが金と力を求めて仁義なき争いを

繰り広げるような夜の世界で、彼女は自分が欲しいものを得るためならどんな努力も惜しまず、必死に働いてきた。その過程で死ぬほどつらい裏切りや酷い目に何度もあったが絶対に負けずに立ち上がり、被った負債を遙かに上回る富を築いてきたのだ。彼女の波乱に満ちた人生に関わった人の中には彼女に騙されたという人もいるが大いに助けられたという人もいる。数子を信じるか信じないかは、その人の決断にかかっているわけで、自分が信じたことを彼女のせいにはできない。何度も信じて裏切られてきた数子もその相手を恨むより自力で立ち上がりさらなる成功をつかみ取ってきたのだから。彼女のような生き方を、社会規範や道徳という安全地帯からみて、良いとか悪いとか裁けるものではないと、このドラマを見て強く感じた。細木数子さん、あっぱれ！お見事です。最終回最後のセリフは痛快でした。(★★★★☆ さかな)

感想② 「地獄に墮ちるわよ」や「あんた死ぬわよ」などの強烈な決め台詞が物語るセンセーショナルなイメージが先行し、あまりポジティブなイメージのなかった細木数子という存在。しかし、戸田恵梨香主演とあっては観ないわけにはいかない、というわけで少々斜めの角度から観ていたが、ストーリーの面白さや戦後日本を生き抜く女性のリアルな描写にグイグイと引き込まれ、ほぼ一気見してしまった。実在の人物を演じるとどうしても比較されがちで、華奢な戸田恵梨香では、細木の太々しさに多少欠けていたようにも思うが、37歳という年齢で、細木の17歳から66歳までの約50年を一人で演じたのには脱帽。肯定派は成り上がり人生の逞しさを讃え、否定派は闇の部分(靈感商法や黒い人脈)のドロドロしさに欠けると手厳しいが、それでも観入ってしまうのがこのドラマの魅力だろう。(★★★★☆ みさこ)

感想③ 「郷に入っては郷に従え」このドラマを見て真っ先に思い浮かんだのがこのフレーズ。幼い頃、想像を絶する、まさに生死の境をさまようほどの貧困を経験し、この時代に身についた、だますよりだまされるほうが悪いという考えは、常に彼女の人生の根底にあったと思います。貧困を経験したことがない私たちには到底理解することのできない、まったく別の次元にある彼女の常識。生きるか死ぬかの狭間を経験した彼女は、常にサバイバルモードだったのかもしれませんが。彼女のように生きたいか、傲慢にふるまい、影響力、受け取る側のことを考えずに発言することができるかと聞かれれば、答えはノーです。数子の姿勢はとても自分勝手、そして時に哀しく映ります。とはいえ言葉通りの七転び八起き、どんな逆境をも乗り越えてみせる彼女の姿勢は大きな尊敬に値します。少し気になったのが主演、戸田恵梨香の人差し指と親指で開いた口をなぞる行為。違和感をぬぐえませんが、相当の貫禄、傲慢さと狡猾さがないと不自然に映ってしまうのだと思います。そんな仕草が板についていた数子。彼女のすどみが示唆されていると思いました。(★★★★★ ゆき)



大きな声では 言えない話



結果的になんでも食べられることに…

私は好き嫌いなく、なんでも食べられると公言してきました。アジアの旅では地元の料理をなんでも体験とばかりに食べまくり、カエルや蛇もいただきました。苦手な方が多いドリアンも中毒になるほど美味しかったです。

そんな私にも苦手なものがありました。若い頃、定食屋でカニクリームコロッケ定食を注文しました。出てきた大皿にコロッケとキャベツの千切り、ご飯と味噌汁、それにタケアンの漬物が三切れほどの定番定食です。



さあ、「いただきます！」とカニコロッケをひとくち口に入れると、「ゲゲェ!」。あのトロツとしたカニクリームの味が、少し生臭い変な味に変わっているのではないですか。「なんじゃ、こりゃ」と驚きつつも、何度か噛み噛みしながら確かめてみると、カニではなく「カキ」じゃないですか！そう、「カニクリームコロッケ」と注文したはずが、ご主人には「カキクリームコロッケ」に聞こえていたようです。どっちもクリーミーな味わいだが、カニを期待していたははずが、カキに化けていたとは…。



もともと魚介類は大好きで、中でも甲殻類のエビ、カニは大好物。しかし、子供の頃、家で出されたどんぶり一杯の生牡蠣を酢の物状態で一気にのどつと飲み込むことができず、カキだけは苦手な食べ物でした。しかし、「カニクリームコロッケ事件」のおかげでそれ以降は、生牡蠣も食べられるようになりました。それにシドニーでは美味しい生牡蠣をいただく機会も多くなりました。めでたし、めでたし。



ここが気になる



日の丸弁当は大丈夫？

日の丸を大切にすることは自然に…？

日本で「国旗損壊罪」という法律ができるようです。国旗を「人に著しく不快、または嫌悪の情を催させるような方法」で公然と損壊した場合、2年以下の拘禁刑または20万円以下の罰金を科すというのです。日の丸を「破いたり、燃やしたりする」と罰せられるのですが、その様子をライブ配信するとダメで、後でSNSにアップして拡散するのは罰せられないという変な法案です。「人に著しく不快、または嫌悪の情を催させる」なんて、いったい誰が判断するのでしょうか？

昔から抗議活動として国旗を燃やしたり破いたりすることはありました。ベトナム戦争に抗議してニューヨークで草間彌生さんが星条旗を燃やしたり、沖縄の現状に抗議して知花昌一さんが沖縄国体で日の丸を燃やしたりしています。表現の自由を大事にするアメリカでは最高裁判決で「国旗の特別な役割を守る方法は、異なる考えを持つ人々を罰することではない」と言っています。国旗を大切に思う気持ちは処罰では深まらないということです。かつて日本では「日の丸行進曲」や「日の丸おけさ」の歌が流行ったり、祝日は「旗日」と言って家の門に日の丸を掲げる習慣がありましたが、もはやそんな時代ではなくなりました。自然に大切に思う気持ちが出てくるのを待てばよいものを、かつての“国民精神総動員運動”のように上からの法制化は、結局人心に届かず、非常にまずいと思うのですが…。(日の丸小僧)

イチオシ! YouTube



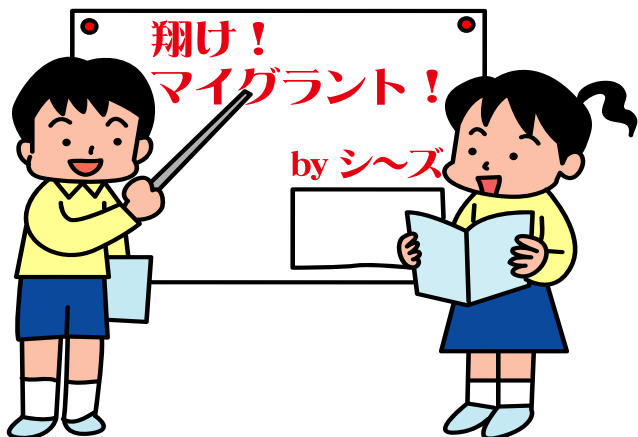
Tiny Desk Concerts!

<https://music.youtube.com/playlist?list=PL1B627337ED6F55F0&si=kr2oSVaq2JGhEZfJ>

https://music.youtube.com/playlist?list=PLy2PCKGkKRVbu67fwLL1n_Csg9tx9GBlg&si=SoCv75J827A7k4MI

私のイチオシは、Tiny Desk Concerts! オフィスのようなフロアの一角でミュージシャン達が演奏を披露するというNational Public Radioのプログラム。元々は冗談から2008年に始まったそうです。2024年8月時点で1,100ものコンサートがリストされ、月平均再生数4,500万ビュー

を誇ります。スーパーボウルのハーフショーをテレビで観て以来、Bad Bunnyが好きになり、YouTubeで検索をかけてこのTiny Desk Concertsの存在を知りました。通常とは違ったバージョンが面白くて、他のミュージシャン達も聴くようになりました。2024年3月には日本でもNHKでスタートしました。ASKAさんとか石川さゆりさんとか懐かしい面々がリストされているのも嬉しい。おススメです!



【第49回】マイグランドの生徒達(その1)

今まで様々な国から来た様々な生徒達と関わってきました。今回は、その中でも特に私の心に大きく刻み残った生徒について述べたいと思います。

彼女はアイリーンというインドネシアからの16歳の生徒でした。生まれつき脳性麻痺を患っていて体が思うように動けず、また言葉をうまく発することができないため、押し車を使って生活をする状態でした。そんな彼女を素晴らしい環境の中で教育し、英語力を培わせ、未来ある将来をという両親の願いで、オーストラリアを選んで家族で移住してきたのです。

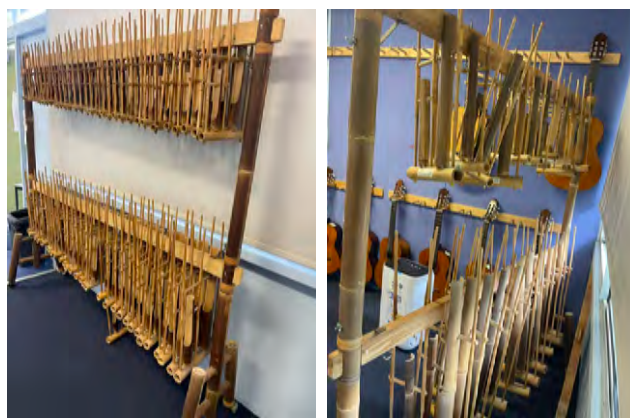
我が校はNSW州公立高校の一部であるものの、独立した英語力強化特別学級のための独自のキャンパスを持つことができず、簡易校舎をハイスクールの敷地内においていただけなので、障害を持つ生徒のための施設が当時はありませんでした。当時の校長が、公立学校は学区内であれば生徒の資質にかかわらず受け入れるのが義務であると教育省に掛け合い、そのたった一人の生徒のために障害者用トイレと車椅子アクセス用のランプを付けた校舎を建てさせました。そして教室の移動やトイレへの移動など、彼女の世話を専門にするスタッフに私が任命され、特別講習を受けて1年間彼女のサポートをする事になったのです。

アイリーンは言葉を発することができないけれど、聴覚には問題がないので授業を受けることには全く問題ないのです。とても聡明な生徒で、毎授業で習ったことはすべて習得し、英語力は着々と伸びていきました。私は毎授業が終わると彼女のところに行き、トイレや学校内での全ての移動の付き添いをしました。昼休みもほとんど一人だったので私が一緒にランチタイムを過ごし、私の一方的な他愛のないお喋りを微笑みながら聞いてくれたので、私達が心を打ちとけて仲良くなるのに時間はかかりませんでした。当時は通常のマインストリームのハイスクールと同様に、我が校も週に一日スポーツデーという時間があり、全生徒は7、8種類のスポーツの中から一つを選択して、金曜日の午後に課外授業をするカリキュラムを取り入れていました。障害があっても他の生徒と同様にスポーツする権利はあるので、熟考した結果、スイ

ミングプールでゆっくりと歩くという運動を取り入れることにしました。もちろん担当は私。ベビー用のプールで、両手を支えながらプールサイドから水に入っていきます。腰のあたりまでの深さのプールで両手をつなぎながらずっと歩くのです。いつものようにお喋りしたり、室内プールの騒がしさをいいことに私が趣味でやっているバンドの歌の練習をしたり。彼女はずっと微笑みながら私の稚拙な歌を聞いてくれたのです。

会話はなくても心がつながっている子弟関係でしたが、ある日私は彼女を傷つけてしまったことがありました。体育の時間は彼女はオフィスの隅で自習をするため、私が彼女を移動させることになっていたのに、ある日うっかり忘れて彼女を教室に30分以上一人ぼっちに置き去りにしてしまっただけです。自力で教室を出られず、声を出して助けを呼ぶこともできない彼女は、私が来るまでずっと涙を流しながら一人で過ごしていたのです。なんてひどいことをしてしまったのかと私も涙が止まらず、2人で抱き合っ泣いて過ごしたことが今でも鮮明に残っています。

一年後、彼女の英語は上達して我が校を卒業した後ハイスクールには転入せず、ライブラリアンの資格を取るためTAFEに進学していきました。当時はスマホの無い時代だったので暫くの間はEmailで交流していたのですが、そのうちに音信が途絶えてしまいました。そして20年近く経った今、なんとFacebookで彼女から連絡をもらったのです！現在彼女はインドネシアに戻り、家族が経営する会社の経理の仕事をしているとのことでした。幸せな人生を送っているとのこと、彼女の成長ぶりに感激一入(ひとしお)の思いです。



ところで、彼女の卒業時に家族からお礼としてAngklungというインドネシア独自の楽器を一式学校に寄付されました。一つ一つが音階をもっている竹製の楽器で4オクターブ分2セットずつ揃っている大変貴重な楽器です。音楽の授業でAngklungを指導するたびに当時の彼女と一緒に過ごした時間を思い出します。

障害を持っていても常に微笑みを絶やさない聡明な素敵な女性、アイリーン。幸せに満ち足りた人生を過ごしていくことと信じています。



バイク おばちゃんが行く！ その4

ピアスやすこ

2025年に訪れた元共産国である東ヨーロッパの旅行記を今年の1月から奇数月に連載しております。今回の旅はバイクに乗っておりませんが、お許しくださいね。

ルーマニア観光を終え、ドナウ川を遡るリバークルーズ船に乗り込んだ私達は、まずラウンジに集められウェルカムドリンクを飲みながらこれから始まるクルーズの説明をマネージャーから受けました。長い説明の間、窓際に座った私は、船はいつ出発するのだろうと川面を眺めていたのですが、一向に進んだ様子がありません。ところが、説明を終えたマネージャーが「はい皆さん、ブルガリアに着きました！」と言うではありませんか！びっくりして向こう岸を見ると、さっき私達が乗船したルーマニアの船着き場が見えます。つまり進行方向に向かって右側から私達は乗り込み、船は横にツツツと動いて、川の左側に着岸したわけです。川のあっちとこっちでは、国が違うということを確認してはいましたが、これからクルーズが始まると期待していた私は、なんだか拍子抜けしてしまいました。とにかく無事ルーマニアからブルガリアに到着したわけです。



白い船が見える対岸が先程までいたルーマニア

クルーズ船に乗ると、着いた先々でexcursionという一日や半日のバスツアーが色々あり選択できるので、これに参加してこの国を少し見てみることにしました。

ブルガリアと聞いて私が連想するものは、日本のTVコマーシャルでよく流れていたブルガリアヨーグルトです。あの頃は、ブルガリアなんて遠い遠い夢の話で、ついぞ自分が来ることになるとは思ってもいませんでした。長生



(写真左)ブルガリアに着いて下船

(写真右)白・緑・赤はブルガリアの国旗カラー、そんな衣装のおじ様と

きはするもんです、夢の国に来ることができました。何十年も前はコマーシャルしてたようにブルガリアは長寿国でしたが、今ではトップ100にも入っておりません。しかし体にいいとされる本場のヨーグルトをありがたく、しっかり頂いてきました。

ブルガリアのもうひとつの特産品は、ローズオイルです。世界のローズオイルの中でブルガリアは約70%を占めます。ダマスクローズという種類のバラから抽出され、最高級の香りで美容と健康、アンチエイジングにもいいそうです。とても高価なもので、それには理由があります。1グラムのローズオイルを抽出するには4〜6トンものバラの花びらが必要で、花の摘み取りは全て手作業。大量の花びらからほんの少ししか採れないという希少価値があるのです。気になるお値段は1グラムで92豪ドルでした。ほんの10グラムで920豪ドルと思うと、なかなかの値段です。美を追求する女性は買うのですね。

ローズオイルの他にローズウォーターというオイルより安価な製品もあります。私は趣味で沢山のバラを育てているので、我が家のバラの花びらを煮て蒸留水を集め、自分でローズウォーターを作ったことがあります。その土産物店で迷った挙句、エイっと清水の舞台から飛び降りるつもりでローズオイルをちょっぴり買いましたよ。

この地では、ヨーグルトを食べ健康体を作り、ローズオイルを一滴垂らしたクリームを顔に塗り、おばちゃんは若返ろうという魂胆です。これからまだまだ旅は長いですからね。 To be continued…



進め! 第32回 オーストラリアは15位、日本は61位 マルチカルチュラルイズム

by.Yushiro

日本で出会った外国人観光客のほとんどが、「日本はすてき」「日本の人は親切」「日本は素晴らしい」と話してくれます。こちらも嬉しくなって「サンキュー」などというのですが、心の中では(えっ、それほど親切な人ばかりじゃないよ、あんたが“ガイジン”だからだよ)などと思ってしまう。例えば私が東京で道を聞こうと声をかけても、知らぬ顔で歩き去られてしまうという経験もあります。突然見知らぬ人に声をかけられて、不審者を見る目つきで「なに?この人」という感じで去っていくのです。シドニーでは道端で転んで怪我でもしようものなら、あっという間に数人の人が寄ってきて、「大丈夫?」「救急車呼ぼうか?」と助けてくれます。おそらく日本では、みな遠巻きにしてスマホで撮影をしだすというのが現実です。

もちろん個人的な体験でその社会や国民全体をひとくりに判断する気はまったくないのですが、これまで幾度となく経験し、周りの人たちから似たような話を聞くにつけ、どうも日本があまり親切で寛容な国ではなくなってきたのかなと感じています。

最近のニュースに、「オーストラリアは15位、日本は61位」とありました。これは国連の「世界幸福度調査(World Happiness Report 2026)」の順位で、主に次の6項目で幸福度を測っています。①1人当たりGDP(経済力)、②社会的支援(困難時に頼れる友人・知人)、③健康寿命(健康度)、④人生の選択の自由(自由度)、⑤寛容さ・寄付(他者への寛容度)、⑥腐敗認識(政府・社会への信頼度)です。この指標を総合して幸福度スコアを算出します。

オーストラリアは147カ国中15位でした。以前はトップ10入りしていたこともありますが、それでも高い水準を維持しています。寛容さ(9位)や健康寿命(12位)、1人当たりのGDP(16位)が高く、指標の中で一番低い順位でも「人生の選択の自由」の44位です。

一方、日本は61位でした。2025年の55位から順位を下げ、G7(主要7カ国)の中では最下位です。日本の特徴は「健康寿命」が2位と高く、1人当たりのGDP(28位)や腐敗の少なさ(29位)も上位になっています。その一方、「人生の選択の自由(85位)」や「寛容さ(122位)」が低くて順位の足を引っ張っています。

この結果を知って、前述の個人的な体験に納得がいったのですが、ほかに、日本の社会的支援や寛容度の低さを示す調査結果があります。日本政府の「高齢社会白書」(日本・米国・ドイツ・スウェーデンの4カ国)によると、日常生活で困ったことがあった場合に、同居家族以外に頼れる友人や近所の人がいる割合が日本はかなり低いとされています。白書では、頼れる友人が「いる」と回答したのは、ドイツ61.0%、米国31.1%、スウェーデン26.2%、日本13.7%でした。近所の人では、ドイツ52.0%、スウェーデン26.0%、米国25.3%、日本12.9%でした。いずれも65歳以上の高齢者では日本が最低で、孤独で孤立した高齢者が多いことがわかります。

また、幸福度調査報告書では、「ソーシャルメディアの過度な利用が若者の幸福度の低下の大きな原因になっていることが示唆された」としています。ご存知のようにオーストラリアでは昨年末から16才未満のSNS利用を禁じる法律が施行されています。また、PISA(国際学力調査)のデータでは、15歳の生徒で1日7時間以上ソーシャルメディアを利用する子は、1時間未満の子より幸福度が大幅に低いといわれています。今後、若者世代も過度なSNS利用で世界中で幸福度が低下していくのでしょうか?非常に気になります。

世界の幸福度順位

1	フィンランド
2	アイスランド
3	デンマーク
4	コスタリカ
5	スウェーデン
6	ノルウェー
7	オランダ
8	イスラエル
9	ルクセンブルク
10	スイス
15	オーストラリア
61	日本



ワインの話

「ワインの話」では、リーズナブルなプライスでありながら、クオリティの高いオーストラリアのワインを紹介します。

Lobster Reef Pinot Gris 2025

★★★☆☆

ニュージーランドの南島の北端に位置するLobster Reefはバランスの取れた優れたワインを生み出すエリア。海岸

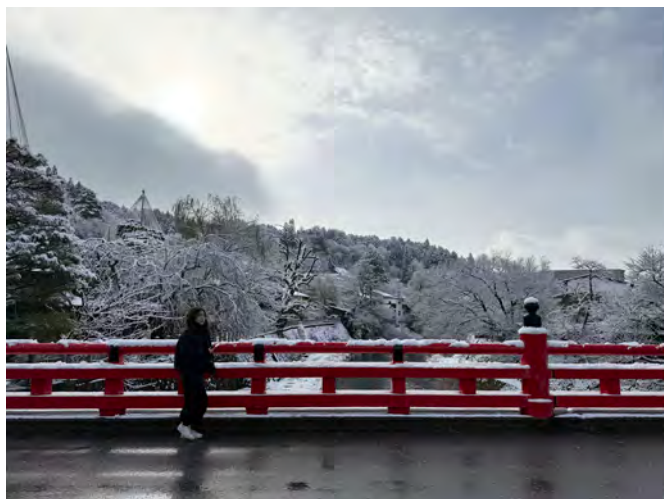
沿いの立地でありながらドライな気候が飲みやすいワインを生み出す秘訣になっているよう。

このPinot Grisは飲みやすくドライでごくごくいってしまいそうな味わい。それでもPinot Gris自身のこくが感じられ、シーフードにも合う飲みやすさで、デリーワインとしてキープしておきたい。





自分にとって忘れることのできない写真、いつも飾っている思い出の写真、二度と撮れないシャッターチャンスの写真、大好きな人・有名人・尊敬する人との記念の一枚…など、My Favorite Photoを文章とともに送ってください。



飛騨高山の雪景色

2024年末に家族で日本に行った中で母親の故郷である岐阜から飛騨高山を訪れる機会があった。

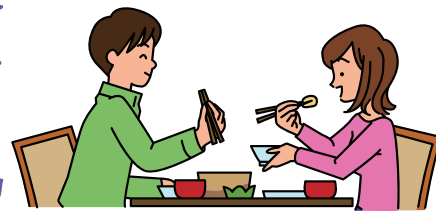
その歴史的な街並みとたくさんの舌鼓をするような食べ物が今まで知らなかった日本の奥の素晴らしさを教えてくれた。

そんな中で高山の中心を流れる宮川の上の美しい橋ではたくさんの観光客が写真を撮っていた。

そこで撮った雪景色は格別で、娘をモデルにして撮った絵はずっと大切にとっておきたい。

そしてひよんな繋がりから僕は今ではこの高山に計画するホテルのデザインを進めている。10月には着工予定だ。

外食日記



Taste 101

住所: 124 S Parade, Auburn NSW 2144

電話: 0422-430-895

予算: \$15

営業時間: 日-金 7:00-20:30, 土 7:30-20:30

雰囲気 6、料理 7、サービス 6



今月はAuburnにある中国料理です。駅改札を右側に出てすぐの信号を渡って、中華まんが通りから見えるお店です。綺麗好きの方にとっては店内は少し汚いかもかもしれません。

店に入ってすぐのところに、ケース内に魚、各種肉、野菜の料理が8種類くらい並んでいて、2種類+ライスで\$12、3種類+ライスで\$15は、他店と比べると安いのではないのでしょうか。店内で食べるとセルフサービスで日替わりのスープも付いてきます。

今回はメニューから辣肉面(写真)と担担面を選びました。辣肉面の麺は3種類から選べます。スープの味は豆板醤が支配していました。具は細かい豚肉とチンゲン菜、卤蛋(ルーダン)かと思われる醤油煮込卵です。

スープが熱々でなかったのがイマイチでした。坦坦面は汁なしのようで麺の下にタレがあり、混ぜながら食べました。辛さが足りず、辣油を足しました。



仏教語からできた 日本語 その238



渡部重信
sydneyhongwanji@gmail.com
浄土真宗本願寺派[西本願寺]
オーストラリア開教事務所長

法律Q&A 弁護士に 聞いてみよう 221

主任弁護士 林由紀夫 (H & H Lawyers)

慚愧(ざんき)

テレビの記者会見等で、社会的に地位のある人が大きな過ちを犯したり、恥ずかしい行いをしてしまった時に、「慚愧(慚愧)に堪えない」「慚愧の念に堪えません」と反省の言葉を語るシーンをご覧になったことがあるかと思います。これは自らの至らなさを心底恥じての言葉です。

恥ずかしいという感情は、何か基準となるものがあって、それに照らして出てくるものです。その場合、私たちの基準となっているのは、自分自身或いは世間(社会)であり、「こんなことをして自分に対して恥ずかしい」「世間に対して恥ずかしい」との想いが起こるのです。

仏教においても慚と愧は心のあり方の重要な一面として考えられています。仏教では、対象を認識する心の中核部分「心(しん)」とそれに伴って働く心の作用の部分「心所(しんじょ)」からなる総合体として心を捉えます。「慚」とは自分自身を法(仏教の教え)に照らして自分が行った過ちを恥じると共に、徳のある人や善なるものを尊重することであり、「愧」とは世間(法律や慣習などの規範)に照らして自分が行った過ちを恥じると共に、悪行から離れることです。この慚と愧は一応は区別されていますが、必ず相伴って生ずるとされています。そして、この二つは、心が善の状態の時は「精進」などの他の善の心の作用と共に生じ、逆に心が不善(悪)の時は「恥じない想い」としての「無慚」と「無愧」の二つが必ず生ずると考えられています。

私たちは自我を根底とした煩惱の中で生きていますので、さまざまな過ちを犯してしまうことがあります。しかし、日常の中ではなかなかそのことに気づかないばかりか、慢心さえ起こしてしまいます。そして、大きな過ちを犯して初めて自分の間違いに気づくのです。しかし、そうならないためにも、日常の自分の心の中にこの慚と愧を見いだし育むことが望まれます。特に「慚」は自分自身のめざす真実に照らして、折々に自分を見つめ、現状の自分を恥じることにもなるので、「精進」や「不放逸(欲望のままに流されず本来為すべきことを為すこと)」の意志と共に、私たちの心のあり様を向上させるものです。慚愧は、自分を萎縮させ世間から引き籠らせるようなものではなく、自分を成長させる原動力となりますので、私たちは大いに慚愧するよう心がけることが大切です。

合掌

Q:結婚して約10年、シドニー在住です。10歳と8歳の子どもがいます。最近、長男が家族の誰にも似ていないことが気になり、妻には内緒で二人の子どものDNA鑑定を依頼しました。その結果、長男は私の実子ではないことが判明しました。妻に対する気持ちは複雑ですが、10年間父親として育ててきた長男には今でも深い愛情があります。法的にはどのような対応が考えられるのでしょうか。

A:突然このような事実を知れば、大きな衝撃を受けるのは当然です。しかし、オーストラリアの家族法では、DNA鑑定の結果だけですべてが決まるわけではありません。まず、婚姻中に生まれた子どもについては、法律上は夫が父親であると推定されます。DNA検査によって血縁関係がないことが判明しても、自動的に法律上の父子関係が消滅するわけではなく、法的な親子関係を変更するには裁判所での手続きが必要となります。また、オーストラリアは「無過失離婚 (No-Fault Divorce)」を採用しています。そのため、不貞行為があったこと自体が離婚の理由として争われることはなく、婚姻関係が破綻しているかどうか問題となります。不貞を理由として日本のような慰謝料請求が認められるケースも一般的ではありません。

離婚となった場合の子供のCustody(監護権)について最も重視されるのは「子どもの最善の利益 (Best Interests of the Child)」です。10年間父親として生活し、深い親子関係を築いてきたのであれば、血縁がないという理由だけで、その関係が直ちに否定されるものではありません。裁判所は、子どもの精神的安定や生活環境を重視して判断します。また、離婚した場合の長男に対するチャイルドサポートについても、法律上の父親として扱われ続けるのか、父子関係を争う手続きを行うのかなどによって結論が異なるため、個々の事情を踏まえた専門的な助言が必要になります。一方、法律以前に、ご家族として今後どのような関係を築いていくかという問題も極めて重要です。奥様に事実をどのように確認するのか、長男にいつ、どのように伝えるべきかは、法的な問題以上に慎重な判断が求められます。感情的に事実を突きつけてしまうと、夫婦関係だけでなく、お子さんの心にも大きな傷を残すおそれがあります。

このようなケースでは、離婚するかどうかをすぐに決めるのではなく、まず家族法を専門とする弁護士に相談し、ご自身の法的立場を確認した上で、必要に応じてカウンセラーなどの専門家とも連携しながら対応を検討することをお勧めします。

◎今月の表紙 『天頂の道しるべ』ポリビア・ウユニ塩湖上空

標高およそ3,700m、富士山とほぼ同じ高さに広がるウユニ塩湖の新月の夜は、静寂と漆黒に包まれていた。見上げればそこはもう宇宙の入り口で、圧倒的な光の粒子が降り注いでいる。星明かりだけで私の影が水面に映るほどだ。夜の帷が重なるごとに、銀の河は輝きを増していった。七夕を待ちわびる織姫と彦星の、そして私たちの未来を照らしてくれる道しるべのように。



フォトトラベラーYori / ネイチャーフォトグラファー、トラベライター
photraveller.com Facebook / Instagram @yori.hirokawa

編集後記

▼母が高齢者施設に入居して数か月が経ちました。それまでは一人暮らしだったため、毎週末のように実家へ行き、買い物に付き添ったり、ちょっとした家事を手伝ったりしていました。母の機嫌が良い日ばかりではなく、お互いに疲れてしまうことが度々ありました。昨年頃からは転倒が増え、薬の飲み方も分からなくなることがあり、電話で無事を確認する日々でした。現在は、常駐の看護師やスタッフ、医師やフィジオの訪問があるので、とても安心しています。施設は自宅から近くなって、以前より気軽に顔を見に行けるようになりました。「あれもしなきゃ、これもしなきゃ」という用事が減った分、母とゆっくりおしゃべりを楽しめるようになり、親子の関係も以前より穏やかになった気がします。(桔梗)

シドニー日本クラブ役員

名誉会長	在シドニー日本国総領事
相談役	Chalker 和子
会長	渡部 重信
副会長	松隈 由紀子(事務局長兼任)
副会長	水越 有史郎
理事	阿部 直子
理事	齊藤 なお子
理事	Hodgkinson 恭子
理事	堀場 健太
理事	葛西 哲也
理事	林 さゆり
専門理事	飯島 浩樹(親睦の会会長)
専門理事	Murn 薫(編集委員会編集長)
専門理事	Costello 久恵(シティ校代表)
専門理事	Read 晶(ダンダス校代表)
専門理事	水越 有史郎(教育支援委員会・エッジクリフ校代表)
事務局	松隈 由紀子(事務局長)・Richter 幸子(会計)
監事	岩佐 いずみ(会計監査)・多田 将祐(会計監査)
クラブ代表	シドニーソーラン踊り隊(渡部 重信) JCSフラアロハ(Gault 良子) ソフトボール部(安達 ^{さだのり} 定儀)
編集委員会	マーン薫(編集長)・渡部重信・水越有史郎 西牟田佳奈・佐藤 薫・大塚藤子・林由紀夫・多田将祐 坂口 潤・齊藤なお子・大塚るる・松下友紀

編集から

みなさんの感想をお寄せ ください！投稿原稿募集！

会員の方の生の声を募集しています。本誌を読んだ感想や、誌面に対する注文、会に対しての要望、日頃感じていることなど、何でも構いません。皆さんからの率直なご意見や、誌面に対する感想などが、今後の誌面作りに多いに役立ちます。また、絵や写真、詩、俳句、短歌などでも構いません。お気軽にお寄せください。

●送付先(本誌編集長): k.murn@jcs.org.au

原稿は、趣旨を変えない範囲で手を加える場合があります。文字数は最大1000文字です。投稿原稿は、誌面や内容、時期などの都合により掲載を見合わせる場合がありますので、ご了承ください。

告知板について

「告知板」は会員の方が「売ります」「買います」「教えます」など、個人の広告を掲載するコーナーです。会員の方なら、一回に限り無料で掲載できますので、ご利用下さい。

JCSだより感想・原稿送付先

原稿は毎月15日迄に、マーン薫編集長宛に、またはJCS事務局宛に、Email (k.murn@jcs.org.au)か郵送にてお送りください。

JCS事務局連絡先

本誌やJCSに関するお問い合わせは、Japan Club of Sydney Inc.
PO Box 1690, Chatswood NSW 2057 電話:0421-776-052(9時~18時)
Email:jcs@japanclubofsydney.org(松隈由紀子)まで。

会員特典

JCSの会員の皆さんが受けられる特典です。
ぜひ、ご利用ください。

日本ブレーンセンターオーストラリア (NBCA)

Suite 23, 9 Milray Street, Lindfield 2070

Phone: 0404-027-407

Email: nbca.yamaguchi@gmail.com

www.nbca.com.au

担当: 人材 加藤、翻訳 山口

移民局に提出する戸籍謄本と書類の英語への翻訳をJCSの会員の皆様には20%割引で承っております。長期短期の人材紹介及び人材登録をきめ細かくお世話させていただいております。皆様のご連絡をお待ちしております。

甘利会計事務所

Amari Tax & Accounting

Suite 2, Level 2, 88 Pitt Street, Sydney 2000

Phone: (02) 9223-7448

Email: info@taxjp.com.au

新規顧客に特典

JCS会員の皆様のタックス・リターン申請・作成に当たり、料金から15ドルを割引いたします。お支払いの際にこのクーポンをご提示下さい。同時にお二人以上で申請される場合にも、1枚で全員に適用できます。

ほんだらけフル・オブ・ブックス

Level 2, 39 Liverpool Street, Sydney 2000

Phone: 02-9261-5225 Email: hondarake@gmail.com

Website: http://fullofbooks.com.au

シドニー最大の日本古書籍買取・販売店。海外にいても手軽に日本の本・CDなど選べる嬉しい店内在庫8万点をご用意しています。買い取りも随時受付中。

JCS会員の方へは、本・CD・DVDのお買い上げを5%特別割引致します。JCS年会費支払いのコピーをご提示下さい。(セール商品や化粧品など一部除きます、ご了承下さい)

本誌広告案内

広告締切は毎月15日です。広告データ(掲載できるアートワーク)を、メールで、jcs@japanclubofsydney.org まで送付ください。

広告スペース	広告サイズ	料金 (1回のみ)	会員割引料金 (1回のみ)	会員割引料金 (6~11ヵ月)	会員割引料金 (12ヵ月以上)
1ページ	横18cm×縦27.0cm	\$ 220.00	\$ 176.00	\$ 154.00(月額)	\$ 132.00(月額)
1 / 2ページ	横18cm×縦13.2cm	\$ 132.00	\$ 99.00	\$ 88.00(月額)	\$ 77.00(月額)
1 / 3ページ	横18cm×縦8.6cm	\$ 99.00	\$ 77.00	\$ 66.00(月額)	\$ 55.00(月額)
1 / 6ページ	横8.7cm×縦8.6cm	\$ 55.00	\$ 44.00	\$ 38.50(月額)	\$ 33.00(月額)

広告を申し込む際は、上記のサイズ・期間・料金を明記の上、完成された広告データ(正しい広告サイズで、読みやすく仕上がったアートワーク)を、事務局宛にメールでお送りください。銀行振込は以下の口座宛にお振り込みください。締切は毎月15日必着です。

※広告内容が本誌に相応しくないと判断した場合、掲載をお断りすることがあります。ご了承ください。

※JCSでは本誌掲載の広告内容に関しては一切責任を負いかねますので、その旨ご了承ください。

会費納入 料金 支払方法

■会費納入届または広告原稿を小切手と共にJCS事務局まで郵送する場合

小切手の宛名は「Japan Club of Sydney Inc.」でお願いいたします。

郵送先: Japan Club of Sydney, PO BOX 1690, Chatswood, NSW, 2057

■会費納入届または広告原稿をメールで送り、会費を銀行振込する場合

振込時に、登録会員名(フルネーム)と電話番号をDescription / Reference欄に必ず入力して下さい。

お名前がない場合は、支払い元不明で未払い扱いになるためご注意ください。

振込先 Account Name: Japan Club of Sydney Inc. BSB No: 032-002 Account No: 51-3156

■会費納入届をオンラインでする場合 → <https://forms.gle/AD7bG13tdPCs2SJB8>

会員継続の場合は、会費納入届を
提出してください。
オンラインの場合は **こちら**